

とうべつ学園 学校だより

優しく強く

令和5年度 第11号 2024. 2. 2 (金)

学園HP



- 高い志と確かな学力をはぐくむ (知)
- 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (徳)
- たくましい身体と心をはぐくむ (体)



大谷選手からグローブが届きました。

2 学期後半に向けて

校長 吉村 公孝

はじめに、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」によって亡くなられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧・復興と、被災者の皆様及び御家族、関係者の皆様に平穏な日々が戻りますことをお祈り申し上げます。

1月15日(月)、24日間の冬休みが終わり、2学期後半が始まりました。そして、早くも2月です。児童生徒は、白い息を吐きながら登校し、これまでと変わらず、笑顔で元気のよい、爽やかな挨拶をしてくれます。

2学期後半は、短いですが落ち着いて学校生活を送ることができる期間です。1～8年生は学年のまとめをじっくりと行い、4月の進級に備えてほしいと願っています。9年生は、(2月1日から)卒業式までの登校日が27日間となりました。そして、入試に向けた取組が佳境に入っています。一日一日、一時間一時間を大切に過ごし、とうべつ学園で学ぶ残りの日々が充実したものになることを願っています。

冬休みが明けてすぐに、9年生数名と、高校入試に向けた面接練習を行いました。学年の先生たちと何度か練習を重ねてからの面接でしたので、その練習の成果が見られる面接内容に安心することができました。おそらく、聞かれることを想定し、しっかりと準備をしたのだと思います。特に感心したのが質問に対し、借り物ではない自分の言葉で自分の思いや考えを話していたことです。いわゆる「丸暗記」ではできない受け答えです。その内容から、生徒のひたむきさ、優しさ、素直さなどがよく伝わってきました。

1月26日(金)に、新一年生の一入学がありました。入学に向けた準備や学校生活について、保護者の皆様に説明している間、新一年生は、一年生と交流を行いました。一年生は、新一年生を楽しませるために、いろいろと交流の準備を進め、一入学を迎えました。舞台上で司会進行を行ったり、お世話をしたりする姿は大変立派で、大きく成長したことを実感しました。

令和6年度の入学式は、4月6日を予定しています。新一年生の入学を、全校児童生徒、教職員一同、心待ちにしています。



新一年生との交流を進行する一年生



当別町立

とうべつ学園の学校関係者評価 と 地域アンケート

学校評価（教職員自己評価、児童生徒・保護者アンケート、地域アンケートを基にした次年度に向けての課題等の把握と改善策の検討）が適正に行われたかを評価する場を「学校関係者評価委員会」といい、学校運営協議会（CS委員）が担っています。以下、今年度の学校関係者評価と地域アンケートの概要をお伝えします。

なお、教職員自己評価、児童生徒・保護者アンケートの結果は、後日、学校だより特別号としてお伝えいたします。

学校関係者評価の概要

評価項目	自己評価	評価の適切さ
とうべつ学園の教職員である意識を持ち、主体的に学校運営へ参画し、年度の重点目標の具現化を図っている。	重点目標の達成に向けて、一丸となって学校運営に取り組むことができた。	A
ICTを効果的に活用し、「対話」を重視した授業が行われている。	子どもを主体とした授業の構築に向けた、研鑽を積んでいく。また、ICTの効果的活用へとステップアップを進める。	A
保護者・地域に積極的に情報を公開し、協力・連携を図り、地域総がかりで児童生徒を育成している。	家庭や学校関係等への情報発信概ね良いと考えるが、地域への情報発信、連携・協働が急務である。	A
優しさと思いやりの心を基盤とし、いじめ問題等に適切に対応している。	積極的にいじめを認知することにより、早期発見に努めた。いじめは常に起こりうるものと考え、今後も組織的に対応していく。	A
特別支援教育の支援体制を確立し、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた取組の充実に努める。	今後も継続的に研修を積み重ね、生きて働く知識・技能の獲得に努め、保護者、児童生徒のニーズに对应していけるようにする。	A
業務改善を進め、効果的に教育活動を行い、教職員と児童生徒の良い関係が築いていく。	更に業務の見直しを図り、子どもと向き合う時間の確保や在校等時間の縮減を図る。	A

【主な意見】

- ・ 学力調査の結果、確実に学力が上がっている。・ 様々な場面で小中一貫校としての取り組みが良い連携を生んでいると感じる。・ ICTの有効活用について、この分野の進歩はとても早いことから、ステップアップの速度を早めることが重要である。・ 「働き方改革」の具体的な目標、内容を発信してほしい。

地域アンケートの概要(町内会長様へのアンケート)

単位(%)

評価項目	A	B	C	D	E
教育目標の達成状況	45.5	31.8	0	0	22.7
情報発信・連携	34.9	37.9	7.6	3	16.6
児童生徒への指導	36.4	37.9	7.6	0	18.1
安全・環境整備	40.4	32.4	7.6	1.5	18.1

- A：十分よい
- B：概ねよい
- C：やや不十分
- D：改善が必要
- E：わからない

【主な意見】

- ・ コロナも落ち着いて活動も活発になると思うが、古い良い事例を取り入れつつ、新たな部分を取り入れて、社会人として活動できる人の育成を今後お願いします。・ 私の家には、子供がいないので学校に関する情報はあまり入ってこない。子供たちの行動の中に地域住民との交わりの機会を多くとってもらいたい。・ 自転車通学者のヘルメット着用について指導をしていただきたい。

すべては子どもたちのために。地域のために。

ブロック紹介

とうべつ学園では、1～9年生を①前期課程・後期課程、②3ブロック（基礎期・充実期・発展期）2つの枠組みでとらえ、児童生徒の学びや育ちを多様な視点から支援し、教育活動を展開しています。



【学校運営協議会の様子】

子どもたちのために、新たな取組を考えています。

発展期 (8・9年生)



スキー学習 (8年生)

今年度のスキー学習が始まりました！石狩平原スキー場を満喫してきました。

受験本番 (9年生)

いよいよ2月中旬より私立高校の入試が始まります。

がんばれ！！9年生！！



冬休み明け集会

(1～4年生、5～9年生)

1月16日から登校開始！

前期・後期ともに、集会への心構え、態度を確認し、集会を始めました。元気に校歌を歌い、代表者が冬休みの思い出と2学期後半の目標を述べました。



充実期 (5～7年生)

一人一台端末を活用した授業 (写真は5年生の様子)

授業以外でも、AIドリルを宿題とするなど、積極的な端末の活用が進んでいます。



後期課程教諭・ALTによる英語授業 (6年生)

義務教育学校の強みを生かした授業。英語に限らず複数の教科で、日常的に、5・6年生を中心に後期課程教諭による専門性の高い授業が行われています。

基礎期 (1～4年生)

新1年生との交流 (1年生)

前日が休校でしたが、準備した通りに、交流することができました。カッコいいお兄さん、お姉さんでした。



スキー学習開始!

(写真はほなみ前期の様子)

今年は、グラウンドの雪山を校舎近くに造成していただきました。そのおかげで学習がスムーズにできています！！



体育・文化活動報告

運動部の初夏の大会まで、あと半年ほどとなっています。今は、技術と心を磨く大事な時期。努力の積み重ねをこれからも。



部活動等	大会等名	結果等
バスケットボール	石狩当別地区 ダイワカップ 兼 服部杯予選 ◇1/27-28 石狩市 花川中体育館	【男子】とうべつ・西当別中 準決勝 ○62-48 対 花川中 決勝 ○57-30 対 樽川中 【R6.4月 石狩管内バスケットボール選手権大会・服部杯へ進出。石狩当別地区1位通過】
剣道	鳳雛杯争奪 第12回中学生高校生剣道錬成大会 ◇1/28 札幌東陵高校	中学1年男子の部 第3位 [] (7年1組)
表彰	第49回 北海道教育美術展	入選 [] (7年2組)

武道推進モデル校の取組 実施中

7・8年生 合気道に挑戦中です



時間を重ねるごとに、合気道の動きに慣れていく生徒たち

スポーツ庁の指定事業として、「合気道」の授業を実施しています。講師をお迎えし、合気道の歴史や体のさばき方など、新鮮な学びを積み重ねています。

9年生はそれぞれの進路実現に向けて、受験などが本格的に始まっています。

先日は集会の中でも、未来に向けて努力することの決意表明が9年生代表生徒からありました。ベストを尽くすよう、応援します。

がんばれ！ 9年生



春からの新生活に向けて、今、飛躍の時。

9年生 進路実現に向けて！

実物大の美術作品に触れる

～授業改革のひとつ 紹介～

9年生の美術の授業で「風神雷神図屏風」を使った対話型鑑賞を行いました。実際と同じ大きさの教材は、北海道内の美術科教諭で共同作成したもので、今回縁があり、学園で使用する機会を得ました。絵を見て感じたことを話し鑑賞を作り上げていくことも、本校で取り組んでいる「気づく」「つなげる」授業づくりの一つです。



江戸時代作品にうっとり

2月上旬 職員室から…

令和6年は、能登半島地震、羽田空港における飛行機事故と未曾有の状況で始まりました。2日連続での悲しいニュースに接し、苦しんでいる方へ思いを寄せること、置かれている状況のありがたさにも気づかされたところです。/当別町では先日の暴風雪で学園も臨時休業、交通網が混乱するなど、自然災害の怖さを改めて感じる事となりました。/自然環境の変化、AI と人間との共存の在り方など、これからの生きる児童生徒が直面する課題は、さまざまと感ずります。持続可能な世界を作る担い手となるべく、協働・感性・優しさ・思いやりなどを学校教育でも伝えていきます。

「逃げる」と言われる2月ですが、今年は29日も。4年に一度いただける貴重な1日を大切に過ごしたいものです。